



笑顔溢れる交流

6月7日(水)、選手は中沖小学校を訪問し、陸上教室を開いて児童と交流しました。児童が事前に練習した中国語で「ようこそ、中沖小学校へ」と選手を歓迎すると、選手からは拍手が起こり、笑顔が溢れていました。同校へは4年ぶりの訪問でしたが、選手は前回の交流を覚えており「あなたたちのことを覚えているよ。大きくなったね!」と児童に話しかけ、再会を喜んでいました。

教室は、1～3年生と4～6年生に分けて実施され、準備運動をした後に、選手と児童を交えたチームでリレーをして競いました。4年の中村仁さんは「一緒にリレーができて楽しかった。肩車をしてもらい、とても力が強く背が高かった」と顔を輝かせながら話しました。

ハイタッチなどで触れ合う姿や足を負傷して見学をしている児童に声を掛ける姿が見られるなど、言葉が通じなくても、心をかよわせ、笑顔の輪が広がった交流となりました。

